

府省名	法務省	部署名	宮川医療少年院
-----	-----	-----	---------

### 取組のポイント

メンタルヘルスマネジメントの手法を取り入れた職場環境改善方を策定。セルフケア研修やグループワークにより、ストレス軽減やコミュニケーションのとれた風通しの良い職場になったと多くの職員が評価。

### 取組概要

#### 【取組の背景】

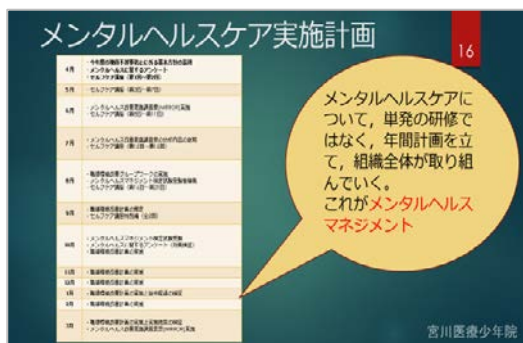
当院は、情緒未成熟等により専門的な治療教育が必要な少年等を対象としていることもあり、特にメンタルヘルスマネジメントの観点から、適切な自己マネジメントができる職員が良好なコミュニケーションでつながっている職場環境を構築することにより、様々な問題に共通する解決策となり得ると考えた。

#### 【取組の内容】

- ・ 全職員を対象に、メンタルヘルスマネジメントの手法を取り入れた、セルフケア研修を22回実施(内2回は精神科医である院長が担当)し、当院の職員のメンタルヘルスケアに対する知識とスキルを向上。
- ・ 研修効果を測るため、希望者に対しメンタルヘルスマネジメント検定Ⅲ種の受験を推奨(12名受験)。また、メンタルヘルス改善意識調査により、職員の望ましい状況・改善すべき状況を把握し、全職員に共有し、具体的改善策につなげた。
- ・ 上記調査結果をグループワークで議論し、業務の繁忙期の見える化や職員休憩室の整備などを盛り込んだ職場環境改善方を策定し、実践。ハラスメントやコンプライアンス違反など不祥事がより起きにくい職場環境に貢献。

#### 【取組の成果】

職員意識調査やグループワークの結果から、ライフスタイル等に応じて年次休暇が取得しやすい、職場内で相互協力ができおり働きやすい環境であるなどの肯定的な意見が見られた。ストレスが軽減され、コミュニケーションのとれた風通しの良い職場になったと多くの職員が評価。



メンタルヘルスケア実施計画

1 職場の良い点	
研修・医師 G	14 協力を得たり、コミュニケーションがとりやすい環境である。
	18 ライフスタイルに応じて休みを取りやすい環境である。
	24 労務の増分が多く、ストレスの軽減法について様々な情報から学ぶことができる。
企画調整 G	2 フォルダ整理、ホワイトボード等の掲示板により情報の共有が図られた。
	18 年次の精力的な取組が図られている。
2 職場の改善したい点	
研修・医師 G	18 良い点にも繋がっているが、もっと休暇を取得しやすい環境にしたい。
	7 今年の厳しい働きの中、電力供給の都合でがまんすることが多くあったため
	21 ハラスメントに 대응する手続の明確化

職場環境改善グループワークのまとめ

### 講評

現場の課題を基に、働き方のみならず、メンタルヘルス、ハラスメント、コンプライアンス違反など、問題意識を幅広く捉えている。多様性の基礎である「お互い様」の意識を醸成するに当たって、根本的な問題にアプローチしている点も評価できる。